

●北見市の年表

年代	西暦	できごと
明治 37年	1904	2月日露戦争が勃発する。北見屯田に召集の伝報到着。 北光で初めて米作りを始める。
38年	1905	8月日露戦争終結する。
42年	1909	野付牛、二級町村施行。(生顔常村を廃止、野付牛大字オケトウンナイと改める) 野付牛村会議員選挙が始めて行われる。
44年	1911	池田・野付牛間に鉄道が開通する。(野付牛駅正式開駅) 野付牛駅と村役場との間に電話が開通する。 常呂川が大洪水をおこす。
大正 元年	1912	野付牛・網走間の鉄道が開通する。 留辺蘂駅ができる。 常紋トンネル開通する。
3年	1914	第一次世界大戦勃発。 鑑沸村(現佐呂間町)が常呂から分村する。 野付牛村市街272戸が焼ける大火事がおこる。 下生田原(安国)から留辺蘂間、鉄道が開通する。 8月2日 ピアソン宣教師夫妻野付牛町に移住する。
4年	1915	常呂村、太茶苗、手師学村、少牛村が合併し常呂村となる。 置戸村、武華村(現留辺蘂)が野付牛から分村する。 ハッカ農民との契約紛争、サミエル事件発生。
5年	1916	町制を施行し野付牛町(人口16,555人)となる。 (少牛の大部分と手師学の一部を野付牛に編入する。) 野付牛、湧別間の鉄道が開通する。
6年	1917	北海道拓殖銀行野付牛出張所開業。 野付牛役場、大通東9丁目から北5条東1丁目に移転。
7年	1918	常呂市街地に火力発電による電灯がつく。 武華村に電話が通じる。
9年	1920	武華村(留辺蘂)から森林鉄道が29号まで引かれる。
10年	1921	端野村と相内村が野付牛村から分村する。 武華村から留辺蘂町(人口10,530人、戸数2,230戸)。
11年	1922	野付牛中学校(現北斗高校)ができる。
12年	1923	関東大震災。
13年	1924	北見農場試験場、ハッカ「あかまる」を優良品種に定める。
15年	1926	野付牛商工会結成、初代会長に伊谷半次郎就任。
昭和 2年	1927	野付牛駅前にビルディング百貨店落成。
3年	1928	ピアソン夫妻送別会、5月15日米国へ出発。
6年	1931	満州事変が起こる。 常呂に大堤防ができる。
7年	1932	石北本線が開通する。